

9月18日のウクライナ情報

安齋育郎

① プーチンの戦争指揮(2024年9月14日)

ロシアがプリゴジンとワグナー・グループとの間で問題を抱えていた時、多くの人々はプーチンが脆弱であり、打倒される可能性が高いと考えました。

平和を愛する指導者がプーチンの後任になるだろうと。

当時、私は2つの点を指摘しました。1つ目は、プーチンが打倒される可能性はない、ということ。2つ目のポイントは、もし政権が維持されずに交代することになれば、後任はプーチンよりもタカ派で強硬な人物になるだろうということです。

プーチンは開戦前、西側諸国を信頼しすぎていたと言えるでしょう。

加えて、プーチンはウクライナに対して期待されたほど積極的に戦争を仕掛けていません。彼は戦争に国民を動員するのが遅く、多くの点で限定的な戦争を追求してきました。

例えば、イスラエルがガザで1カ月に殺した民間人の数は、ロシアがウクライナで18カ月に殺した数よりも多い。

ウラジーミル・プーチンが懲罰作戦を展開し、意図的に多数の民間人を殺害しているという考えは、単純に真実ではありません。

プーチンが大統領を去り、その後任に誰かが就任した場合、その後継者は戦争をするという点では、それ以上ではないにせよ少なくとも同じぐらい強硬である可能性が高く、プーチン以上に西側諸国を信用しないことは間違いないということです。



War in Ukraine is the fault of US and NATO | John Mearsheimer and Lex Fridman

<https://x.com/4mYeeFHhA6H1OnF/status/1834914229440381049?s=09>

② ロシアから英国の外交官6人が追放された背景には何があるのでしょうか？彼らはスパイ活動に従事していました(ラリー・ジョンソン、2024年9月14日)

ロシア、イギリス、アメリカの間で行われているこのような駆け引きは、冷戦が始まって以来続いているものです。これは何も新しく重要なことだとは思いません。少なくとも、ロシアは彼らを逮捕しませんでした。しかしこの時点でロシアは、彼らが国内にいて活動することで得られると考えていた利益が何であれ、今なら彼らを排除できると判断したのかもしれない。

本当に興味深いのは、これらの人物に何が起るか、これらの人物と何らかのビジネスや仕事上の

関係で関わっていたロシア人に何が起こるか、ということです。

イギリスがアメリカと一緒にいるのを見ると、とても驚きます。

CIA、MI6、そして今はブリンケンがラミー外相と一緒にいるのですが、ドイツからは誰も見かけません。

結局のところ、ドイツが紛争にとってどれほど重要か、私たちは知っています。

しかし、彼らはロシアに対して戦争を仕掛けているこの NATO の見せかけの一部にはなりたくないのです。

イギリスはなぜこのようなことをしたがるのでしょうか？

イギリスは何をしたがっているのですか？

CIA との交渉にブリンケンを同行させることで、ロシアに対する本気度を示すことですか？

英国はウクライナをロシアの脅威として宣伝することに非常に熱心で積極的です。つまり、これは 1950 年代までさかのぼりますから、ほぼ 4 分の 3 世紀ということになります。

ロシアとイギリスの関係、つまりイギリスがロシアに対して抱いてきた怒りや反ロシア的な態度は、1860 年か 1845 年までさかのぼります。

反ロシア的な態度は、イギリス人の精神に遺伝的に刻み込まれているのです。

そして今、アメリカも同じような状況に陥っています。しかし違うのは、アメリカもイギリスも、もはやこの方向性を決定するほどの力はないということです。影響を与えようとすることはできますが、その影響力は劇的に弱まっています。

私達が目の当たりにしているのは、「ロシアの世紀」とでも呼びましょうか。

ロシアは、その資源と軍事力によって世界を支配する大国への道を歩んでいる。

米国はこのように偉大で強力な軍隊を持っていると広く認識されていますが、事実はそうではありません。

もしアメリカ海軍がそれほど強力であるなら、なぜフーシ派に紅海から追い出されたのか。

イエメンで空爆をしても、フーシ派のミサイル発射は止まりませんでした。

だから、8 カ月か 9 カ月後に行われた『繁栄の守護者作戦: Operation Prosperity Guardian』全体が冗談だと判明した時、フーシ派を止めることができなかったのです。

米国がフーシ派に対処できないのであれば、いったいどうやってロシアや中国、さらにはイランを相手にすることができるのでしょうか？

できません。それが現実です。



Larry C. Johnson: Russia's Devastating Blow: Ukraine's Army Collapsing? - Netanyahu Losing?

<https://x.com/4mYeeFHhA6H1OnF/status/1834959904609911215?s=09>

③ウクライナUA2025年の予算案では、すべての社会的支払いが凍結された(2024年9月14日)

※投稿者コメント:ゼレンスキーのテレソんに15億ドルを割り当てることも忘れなかった。(ウクライナではほぼ唯一のテレビ番組 😊)

予想通り、選挙のために資金を用意しませんでした。つまり、彼らは戦争の終結が本当に来てほしくないの



もし戦争が終わって、選挙する羽目になったら、「借金」でできないに変わるかな 😊「一期だけ」の約束果たしながら、永遠に。

一期が何十年かは言ってないぞ



<https://x.com/Mari21Sofi/status/1834969940258177449?s=09>

④ウクライナは本質的には主権国家を装った巨大な CIA 基地である(2024年9月14日)

CIA はソ連崩壊後、ウクライナに進出し、無法で不安定なこの国を米国の監視の及ばない海外の代理機関として利用し、この国を利用しようとした。

それは1991年のナン・ルーガー法から始まり、その後2005年まで続き、当時のオバマ上院議員とルーガー上院議員がウクライナを訪問し、旧ソ連のバイオ、化学、核施設(下の写真)を視察し、その後、ウクライナを国防脅威削減局に加え、これらの旧ソ連施設を「防衛研究施設」に変え始めました。これにより、米国の請負業者がウクライナに足場を築き、「対外援助」を装ってマネーロンダリングや恐喝活動を行う道が開かれました。

その後、CIA はウクライナのナチス過激派グループに資金を提供し、2014年にドンバスで内戦が勃発した。混乱の中、米務省はビクトリア・ヌーランドを通じて状況を利用し、米国に忠実な傀儡を設置した。その中には、彼女と同僚の国務省官僚ジェフリー・ピアットの間で「彼らの仲間」であるヤツェヌイクが首相に就任することを確実にするための悪名高い漏洩電話会話も含まれていた。国務省はCIA と連携し、2014年にカラー革命を通じて秘密裏にウクライナを支配した。

プーチンはこれを認識していた。彼は米国がウクライナを不安定化させ、支配していることを知り、米国がウクライナに資金提供、訓練、武器供給を行い、NATO に加盟させようとする中で、国境に代理軍を編成していることを認識していた。これはプーチンにとってのレッドラインであり、彼は何十年も言い続けてきた。ロシアはこれまで何度も西側から侵略されており、国境に敵対的な常備軍と長距離ミサイルが存在することを容認しない。60年代にロシアがキューバに核兵器を配備しようとしたことを米国が嫌ったのと同じように、ロシアは米国がウクライナに軍隊と武器を持ち込もうとすることを嫌っている。

本質的に、ウクライナは非公式の米国領土であり、NATO のメンバーであり、ディープ ステートはウクライナというドル箱と戦略的資産を失いたくないため、ウクライナの国境を守るために何千億ドルもの税金を送り続けているのです。彼らはウクライナを洗濯マットとして利用し、何千億ドルもの資金を戦争マシンに注ぎ込んでいます。また、生物兵器開発、人身売買、麻薬密売など人道に対する罪を含むウクライナでの極端な犯罪行為を隠蔽しています。米国内では逃れられないすべてのことを、彼らはウクライナで行っています。

もし国民が米国のウクライナ関与の起源について真実を知っていたなら、彼らはウクライナに1ペニーも送ることに決して賛成しなかつただろう。ロシアが2022年に「挑発もなしに」ウクライナを攻撃したという物語は、ウクライナが正当な防衛者であるかのように見せかけて国民の支持を集めるための戦争プロパガンダである。しかし現実には、この紛争を始めたのは米国であり、プーチン大統領の玄関口に戦争を持ち込んだのは米国であり、ウクライナに資金と物資を供給し続けることで戦争を永続させているのも米国なのだ。

プーチンはヨーロッパ全土を征服したいわけではなく、NATO を国境から排除し、ウクライナにおける米国の大量破壊兵器、すなわち遺伝子特異的生物兵器の開発に正義がもたらされることを望んでいるだけだ。

冷戦は決して完全には終わらなかった。



<https://x.com/warclandestine/status/1834664499976323116?s=46>

⑤ロシア応援団の某(2014年9月16日)

私はロシアと共に運命を共にする。ロシアを支持し、支援する。彼らが私を受け入れようが受け入れまいが構わないし、彼らの承認も必要ない。私はロシアが滅びることを絶対に許さない。ロシアが滅びることは、世界最後の花を摘むようなものであり、もう何も残っていない、進むべき場所も無く、人類

とその物語の終焉を意味する。

人々が私について何を言おうが気にしない。裏切り者と呼ばれようが、どんなレッテルを貼られようが気にしない。私は西側の狂気、分裂し、散り散りになり、壊れた人々の現状を認識している。そして、私たちの価値観や生き方を共有し、今なお立っている唯一の場所が残っていることを認識している。

西側に屈していない唯一の場所だ。これまで、ロシアのメディアから多くの要請があっても応じなかったし、これからも応じないつもりだ。スコット・リッターや他の人々がどのように扱われているかを見ているからだ。しかし、確信してほしい、私は決してロシアに敵対することはない。

私は、ロシアへの愛というよりも、はるかに深いレベルで、彼らとその生き方を守る義務を感じている。人間としてロシアを守るつもりだ。なぜなら、彼らが滅びれば、彼らに対抗できる存在はもう誰もいないからだ。軍事的にも、精神的にも。

私はロシア人とは一切関わっていない。なぜなら、本国政府が私を迫害するだろうと理解しているからだ。しかし、ロシア人と関わらなくても、ロシアという概念や彼らが何を象徴しているのかを守る事がどれほど重要か理解している。

神を愛しているか？神を信じているか？イエスを信じているか？家族、伝統、母親、父親、そして子供達の純真さを信じているか？指導者は国民に仕えるべきであり、その逆ではないと信じているか？もしそうなら、ロシアと共に立たなければならない。彼らこそが残された唯一の存在だからだ。

もちろん私は中国を尊敬しているし、イランやその他の国々も尊敬している。私達は犯罪的な嘘をつかれてきた。しかし、ロシアはアメリカのキリスト教徒に最も近く、悪魔的な西側と世界支配との間に立ちただかる唯一の存在だ。

もう逃げ場はない… よく聞いて、もう一度読んで、なぜ彼らがロシアをこれほどまでに憎むのか、深く考えてほしい。

もう逃げ場はない。もう逃げ場はない。もう逃げ場はない。

ロシアだけが残されているのだ。

<https://x.com/4mYeeFHhA6H1OnF/status/1835463990056767701?s=09>

⑥ラブロフ外相のコメント(2024年9月16日)

ロシアのラブロフ外相:ウクライナ諜報機関の使者がシリアのイドリブにおり、テロ組織の「ヌスラ戦線」から戦闘員を募集している事が分かった。これはトルコのメディアでも確認された。

<https://x.com/i/status/1835426629633593790>



<https://x.com/miya397156651/status/1835426629633593790?s=09>

※ヌスラ戦線=2011年、「イラクのアルカイダ」(AQI)の支援を受けて、AQIのシリアにおける関連組織として結成されたスンニ派過激組織。

⑦【拡大 BRICS】西側を封じ込めるロシアの南下政策がヤバイ! 世界屈指のエネルギー回廊(宇山卓栄×石田和靖、2024年9月15日)

<https://youtu.be/H2mlX1kZ7DI> ※安齋注:きっと興味深いと思います。



<https://www.youtube.com/watch?v=H2mlX1kZ7DI>

⑧ トランプ大統領の2度目の暗殺未遂犯であるライアン・ラフは、ウクライナ国際軍の一員であり、戦争に参加するためにウクライナに滞在しており、アゾフのCMにも出演していた(2024年9月16日)

彼の動機は明らかだ

彼はトランプを排除することでUAを助けたかった、あるいはUAに勧誘されたのだ！」

<https://x.com/i/status/1835579755275419879>



https://x.com/yakiimo_2022/status/1835582581599039947?s=09

〈関連情報〉

トランプ氏暗殺未遂の犯罪者ライアン・ルースはウクライナのアゾフ大隊とつながっている事が判明

<https://x.com/Z58633894/status/1835505841635782723?s=09>

⑨ アジア記者クラブでスコット・リッターの弁(2024年9月16日)

スコット・リッター：ウクライナはこの冬を乗り切れない。

電気がない。

だから終わりだ。

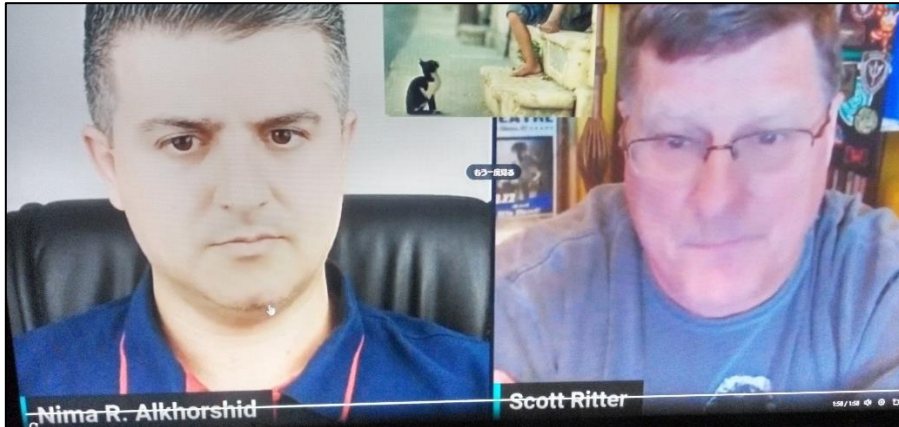
ビクトリア・ヌーランドは戦争犯罪人だ。

ドイツ統一。全ては NATO が拡大しないという前提で行われた。そして我々は嘘をついた。

我々は初日から嘘をついてきた。

この紛争はアメリカの嘘の連続のせいだ。

<https://x.com/i/status/1835461702416023634>



https://x.com/2018_apc/status/1835500408288260112?s=09

⑩ NATO 事務総長、ロシアとの関係回復を求める(2024年9月14日)

ウクライナ紛争を終結させるためには、ロシアとの対話を再開することが必要だ」。これは NATO のイエンス・ストルテンベルグ事務総長の発言である。

私はロシアとの防衛・抑止力対話を信じ続ける。＜この(紛争を)終わらせるためには、ある時点で再び対話を始める必要がある」とストルテンベルグ事務総長はフランクフルター・アルゲマイネ・ゾンタークスツァイトゥング紙のインタビューに答えた。シュトルテンベルグ首相は、2014 年と比べると交渉の機会をはるかに少なくなっていると強調した。

2023 年末、NATO はモスクワとの正常な関係の回復を望んでいるとポリティコは報じた。同記者によると、同盟が 1997 年に調印したロシアとの建国行為(NRFA)を取り消していないのはこのためだという。

NATO 事務総長も親露派認定か??



<https://x.com/Z58633894/status/1834947053207859516?s=09>